

キャリアパス委員会企画

キャリアパス委員会主催 ランチョンセミナー2016 卓越研究員制度の活かし方—選ぶ側の論理と選ばれる側の論理

日 時:2016年11月30日(水) 11:30~12:45

会 場:パシフィコ横浜 会議センター 3階301 (第3会場)

司 会:中川 真一(北海道大学大学院薬学研究院)

●講 演

塩崎 正晴(文部科学省科学技術・学術政策局 人材政策課課長)

●ケータイをつかった聴衆参加型ディスカッションwithキャリアパス委員

井関 祥子(医科歯科大・医歯)、小野 弥子(都医学研)、小林 武彦(委員長/東大・分生研)、
柳田 素子(京大・医)

※参加者の皆様にはご自身のスマートフォン・タブレット端末等から専用サイトへアクセスしていただき、ご意見を会場のスクリーンにリアルタイム表示する「ケータイアナライズシステム」を導入します。

※ランチョンセミナーの事前予約ならびに当日の整理券配布については第39回年会ウェブサイトよりご確認ください。

「安定性のあるポストに就きながら、産学官の機関や分野の枠を越えて、独創的な研究に専念できる環境を提供する」ことを目指し、早くから大きな注目を集めてきた卓越研究員制度ですが、事業がスタートした初年度ということもあり、様々な問題点が指摘され始めています。

そもそも、受入機関と応募者は、お互いの事情と思惑をどれだけ理解し合っているのでしょうか？

本ランチョンセミナーでは、文部科学省科学技術・学術政策局人材政策課より塩崎課長をお招きし、現場の研究者と施策を講じる行政双方の立場から意見を交え、この制度をどのように活かしていけば良いのか共に考える舞台を作りたいと思います。

キャリアパス委員会主催 ランチョンセミナー2016

これでいいのか大学院教育！

日 時:2016年12月1日(木) 11:30~12:45

会 場:パシフィコ横浜 会議センター 3階301 (第3会場)

司 会:胡桃坂 仁志(早稲田大学先進理工学部)

●イントロダクション

小林 武彦(キャリアパス委員会 委員長)

「博士という資格」

●ケータイをつかった聴衆参加型ディスカッションwithキャリアパス委員

石井 優(阪大・医)、岩崎 渉(東大・理)、大谷 直子(理科大・理工)、小林 武彦(委員長/東大・分生研)、須藤 裕子(東レ・先端融合研)、東山 哲也(名大・ITbM)

※参加者の皆様にはご自身のスマートフォン・タブレット端末等から専用サイトへアクセスしていただき、設問へのご回答やご意見を会場のスクリーンにリアルタイム表示する「ケータイアナライズシステム」を導入します。

※ランチョンセミナーの事前予約ならびに当日の整理券配布については第39回年会ウェブサイトよりご確認ください。

大学院とは何をする所でしょうか？

その先は何を見据えて進学するのでしょうか？

大学院修了後には、必ず「就職」というライフイベントが存在します。多くの大学院生は、大学や研究機関などのアカデミックポジションや、企業の研究職への就職を希望しています。しかし、大学院を出たからといって必ずしも希望職に就けるとは限りません。希望を叶えるためには、大学院でどのような教育(勉強)が必要なのでしょうか？

本セミナーでは、大学院修了後のキャリアパスの可能性を広げ、生命科学研究者としての就職難時代を生き抜くために、大学院で何を学び身につけるべきか、そのためにはどのようなサポートが必要なのか、皆さんと一緒に考える場にしたいと思います。